

09

フラマン手話の辞書編纂——過去・現在・未来

ミリアム・フェルメールベルヘン

(ルーベンカトリック大学 [ベルギー])

要旨

本発表では、フラマン手話の辞書編纂プロジェクトについての議論を行う。フラマン手話は、5つの地域的な変種から成り、この語彙的な変種が、ろう教育と第二言語教育において不利益であると考えられていた時が存在した。そのため、1980年代と1990年代初頭の、最初のフラマン手話の辞書編纂プロジェクトは、オランダ語対应手話への語彙的な統一に専心していた。しかし、フラマンろう者コミュニティが公的にオランダ語対应手話の使用を拒否し、フラマン手話を推進し始めた時、これが辞書編纂の中心点にも変化をもたらすことになった。2004年に、最初のフラマン手話とオランダ語の電子辞書がオンラインで出版された。その時以来、フラマンろう者コミュニティは上からの標準化を選ぶのではなく、地域的な変種も辞書に取り入れ、地域変種をそのとおりにラベルづけすることを決めた。過去と、現在のプロジェクトと、近い将来に向けて計画された構想を見ると、社会的にも技術的にも発展が見られ、フラマン手話に関する辞書編纂の作業を形成していることは明らかである。最後に、手話言語の辞書編纂に関して、興味深い可能性への道を開く将来の展望について議論を行う。